

京都・四条河原町いまむかし ～父子二代の定点撮影～

父と息子が、高島屋京都店(四条河原町)屋上から約4半世紀ずつの歳月を隔てて撮影した、京都の街並みの対比です。

【撮影】1957年 滝沢精二, 1983年 滝沢修(当時・京大写真部), 2006年 滝沢修



1957年:市電が走っている。



1983年:木造家屋は見られなくなった。



2006年:京阪四条駅は地下化された。



1957年:見渡す限りが“葦の波”。



1983年:ビルが増えてきた。



2006年:ビルで東山が遮られてしまった。

2006年の写真は、関西テレビの番組「痛快！エブリディ」の依頼により撮影したものです。撮影の機会を与えていただいた関西テレビ放送、および屋上の底での撮影を特別に許可いただいた高島屋京都店に感謝いたします。



(2006年9月20日放送)



京大写真部OB会 第2回京都展

2006年11月21日(火)～27日(月)

アートスペース884

(河原町通り三条上ル・ハヤシ洋装店2F)